

# としま 議会だより

令和 7 年 11 月発行（年4回発行）Toshima Village 2025.9 No.111



10月30日に行われた全国離島振興市町村議会議長会臨時総会にて  
坂元議長が全国各地からの義援金に対して御礼を述べました。

## ○令和 7 年 9 月定例会

9月9日～9月17日（9日間）

- ・専決処分の報告 2件
- ・条例の制定・改正 1件
- ・契約の締結 1件
- ・令和6年度決算の認定 7件
- ・令和6年度補正予算 3件
- ・令和7年度補正予算 1件

計 15 議案

## 編集

今回の議会だよりは、2名の議員の一般質問と令和6年度決算・議決結果を中心に編集しています。

議長 坂元 勇

議会広報調査特別委員会

委員長 竹内 功

副委員長 中島 次男

委員 中村 勇貴

委員 中村 裕之

委員 日高 助廣

委員 永田 和彦

委員 赤木 芳樹

# 一般質問

## 関係人口創出施策についての現状と今後の展望について



竹内 功議員

**問** 本村での関係人口創出の具体的な取組とその成果について伺う。

**答** (村長) 施策としては、「十島村友好島民の会」「ワーケーション推進事業」がある。十島村友好島民の会では、令和4年度以降に村主催のツアーやマラソン大会での抽選倍率優遇措置を開始したことから会員数が増加し、現在ななしま会員<sup>22</sup>名、トカラ会員<sup>25</sup>名の計<sup>48</sup>3名の方に加入していただいている。また、トカラ会員を対象とした特産品の新商品のアンケートを行う友好島民モニター制度や友好島人材バンクへの登録を呼びかけている。こうした取組によって、友好島民の方が特産品作りに関わり積極的な関係人口となることを期待している。

\*関係人口…観光客とは違い、村の特産品を購入したりふるさと納税をしてくださる地域外の方の人口。

**問** 今後、移住定住に繋げるためにどのような取組みを検討しているか。特に、ネットワーク強化やICTを活用した交流の仕組みづくり、多様な関わり方をどう進めていくのか伺う。

**答** (村長) 本村でも、ICTを活用したネットワークの強化と多様な交流機会の創出を重視する必要があると考える。まず、出身者や観光リピーターのデータベースを整備する必要があると考え、ともに、イベントと連動したSNSを含むオンラインでの情報発信・アライндターなど都市部での交流会や特産品イベントのオンライン配信等の活用を行い交流基盤の構築を進める必要がある。加えて、高齢者などのデジタルに慣れない方へのデジタル支援員のサポートも進めていかなければならない。これらの取組その他、関係人口を可視化する仕組みとして友好島民の会を政府が創設を発表した「ふるさと住民登録制度」のシステムを活用することで、今の時代に即した形でアップデートできるものと期待している。

**問** 山海留學生が増えている中で、島立ちした子供達に卒業後も本村と繋がりを持てるような仕組みづくりは考えているか伺う。

**答** (教育長) 現在、制度の維持や住環境を含めた施設整備で教職員の住環境を整えることで、職務の専念に繋げて生徒の学力向上や学校地域の活性化に繋がることを期待し整備拡充に取組みたいと思っている。そして、学園生徒には島立ちばかりではなく島戻り・島帰り出来るよう育てていこうと取組んでいる。また、教職課程を持つ大学との連携により教職員不足の中、将来教職に就きたい学生を十島村の学園で教職経験を積ませるといったインターン制度を構築できないか大学関係者とも協議している。

行政に伝えたい！ SNSの活用について

インスタグラムは外部向け、LINEを内部向けで両方連携して活用しながらSNSの活用に入力してほしい。特に、本村のLINEを活用して島民と行政との双方向の情報提供、イベント等の写真をアップするなどの情報発信も行っていきたい。



# 一般質問

## 集落支援員制度の活用について

### 重機等の管理運用状況および今後の導入について



埜口 裕之議員

**問** 集落支援員の人数及び具体的な活動内容と募集の周知について伺う。

**答** (村長) 現在の集落支援員は1名で主に、出張所業務をしていた。活動内容については、通常業務では行政と地域のつなぎ役を基本とし、外出を伴う業務以外においては、出張所窓口にて相談を受けるなど出張所長を補完する役割を担う。集落支援員について総務省の定義に基づき出張所長の業務と重なる部分が多いことから公文配達時の集落の巡回を含む出張所長業務の補助・村と自治会や各種団体との連絡調整及び話し合い活動の支援・生活調査等に関わる戸別訪問などの業務も想定している。この職については、出張所補助員ではなく出張所長を補佐する役目を担う職責としてそれなりの人材を期待したことから働き方や、人物、地域との信頼関係を検証する必要があると考える事から積極的な募集を行っていないのが現状である。

**問** 重機の所有状況と管理運用について伺う。

**答** (村長) 地域振興課が管理するもので、\*コンマ4のバックホー6台、コンマ2のバックホー1台、ミニユンボ1台、ホイールローダー1台、2tダンプ1台を所有している。土木交通課が管理するものでは、コンマ2の油圧ショベルを口之島、中之島、悪石島、宝島に所有している。管理は、全て出張所が行い使用を希望する方が申請を行い、資格を所有していれば使用の許可をしている。また、必要に応じて消耗品の交換や修理を実施する体制をとっている。

\*コンマ：重機のバケット容量のことを指す。コンマ1=0.1立方cm=約3t。

**問** 重機を集約化し、他の島をまたいで貸し出せる体制は考えていないか伺う。

**答** (村長) 村としては固定化したいと考えている。貸出を行うことで、故障の原因になったり、メンテナンスの問題、管理の問題や移動費の問題も出てくると考える。公共事業等で必要な場合は特異なケースも出てくるが現時点では6島に揃っていることもあり、そのまま固定して利用していただきたい。

**問** 高所作業車の導入について考えを伺う。

**答** (村長) 樹木伐採などで高所作業車の必要性があることは承知している。一方で、導入・維持に係る費用に加え、必要な資格や教育等を受けた操作人員の確保、高所での作業に伴う危険性への対応など、熟練した作業員の継続的な確保が課題となっていることから、導入に至っていないのが現状である。



行政に伝えたい！高所作業車の導入

住民からの声も多い高所作業車は、危険な伐採だけでなく災害復旧や民間企業への貸出、壁面等での利用もできる。1台導入をして全島を移動する形でも構わないため、導入を前向きに検討してほしい。



# 一般会計の歳入と歳出～

## 令和6年度 一般会計

| 令和6年度 歳出 単位:千円 |           |
|----------------|-----------|
| 議会費            | 1,895,353 |
| 総務費            | 1,490,768 |
| 民生費            | 574,708   |
| 衛生費            | 557,778   |
| 労働費            | 391,197   |
| 農林水産業費         | 254,848   |
| 商工費            | 143,319   |
| 土木費            | 131,432   |
| 消防費            | 125,988   |
| 教育費            | 52,575    |
| 災害復旧費          | 47,109    |
| 公債費            | 26,196    |
| 合計             | 5,691,275 |

| 令和6年度 歳入 単位:千円 |           |           |
|----------------|-----------|-----------|
| 自主財源           | 村税        | 843,247   |
|                | 寄付金       | 25,164    |
|                | 繰入金       | 386,654   |
|                | 繰越金       | 154,949   |
|                | 寄付金       | 25,164    |
|                | その他       | 186,099   |
|                | 計         | 843,247   |
| 依存財源           | 地方交付税     | 1,903,355 |
|                | 国庫支出金     | 1,559,400 |
|                | 県支出金      | 510,453   |
|                | 村債        | 938,146   |
|                | その他       | 52,794    |
|                | 計         | 4,964,149 |
| 合計             | 5,807,396 |           |

※千円未満切り捨での金額

## 〈歳入の主な増減〉

### ①繰入金（前年度比 -92,641,000円）

主に減債基金繰入金などの減少により減額。

### ②繰越金（前年度比 +66,835,520円）

繰越金のうち126,162,062円は繰越事業費等充当財源繰越額となっており、大きく増加。

### ③国庫支出金（前年度比 +328,486,237円）

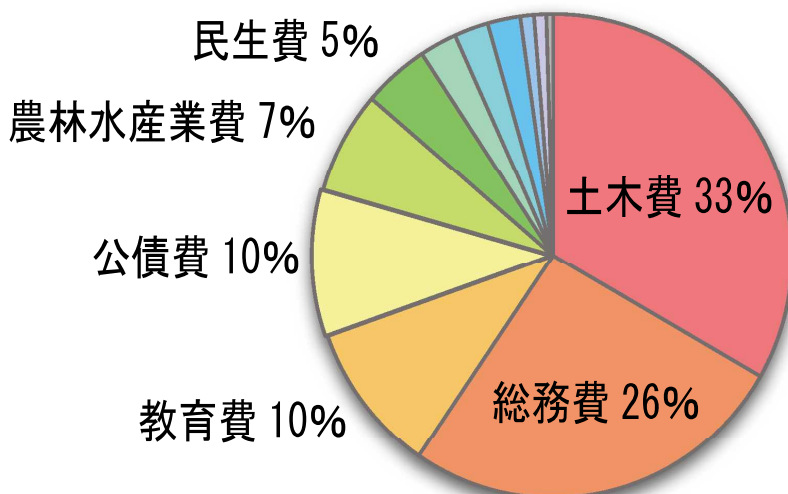
特定事業のために国から交付されるお金

R5からR6への繰越事業、湾岸事業、コロナ関連の交付金等が影響し大きく増加。

### ④地方税（前年度比 -1,371,631円）

個人市町村民税の均等割で-97千円、所得割で-890千円、法人市町村民税の均等割で+276千円、法人税で+670千円となっている。固定資産税では、大臣配分による償却資産（電力業者分）の減少に伴い、-601千円となっている。地方税全体では、-1371千円。

## 令和6年度 歳出割合



### 〈歳出の主な増減と影響を及ぼした主な事業〉

①土木費（前年度比 +742,514,069 円） 港や道路等の整備に

特定離島（道路環境整備）・地域再生計画事業費（港湾）

②総務費（前年度比 +521,061,135 円）

代替高速観光船建造費・ブロードバンド施設管理費・積立基金費

③教育費（前年度比 +48,796,397 円） 学校教育や校舎改修に

へき地寄宿舎整備事業・学校校舎改修事業

④農林水産業費（前年度比 +94,539,875 円）

特定離島（特産品開発）・補助離島活性化（新規作物運搬素材）・特定離島（家畜保護施設）

⑤民生費（前年度比 -62,821,155 円） 児童や高齢者福祉に

特定離島（遊具）・特定離島（多世代交流ふれあいセンター）・国保特会繰出（その他）

# 令和6年度決算審査特別委員会

9/10～9/12

委員長：中村 勇貴議員

## 一般会計

### 〈総務課〉

問 (ふるさと納税について) 本村のふるさと納税の返礼品は、農産物が中心だがそれ以外のものがあるか伺う。

答 現在、サイトに掲載されているものはないが、今年度10月の新規追加に向けて現在11件程度の申請を考えている。その中には、NP Oで販売している手拭いやルアーを掲載予定である。ただ、原材料にしても十島村に半分以上の価値があることが条件になっており、国の判断になるため慎重に検討していきたい。

### 〈地域振興課〉

問 (現業関係について) 現業職の高齢化や人員の減少について村は把握しているか伺う。

答 現状について出張所長とも情報共有を図っているが、新たに現業職として勤務してくれそうな方がいないのが現状であり、現業制度については新たな施策を検討する時期になっていると考えている。

問 令和6年度決算における労働諸費の不用額は、予算計上したものの使いきれなかった事による不明額なのか伺う。

答 事業費について概算で計上しており現業職が年度途中で減ったことによる不用額である。

現業職が減った分、その他労働事業の委託料が増えている状況である。

### 〈土木交通課〉

問 (港湾事業について) 現在、平島、小宝島で事業を進めているが、定期船の接岸率からすると小宝島を優先して事業を行うべきと考えるが見解を伺う。

答 港湾補助事業について、それぞれの活用事業の交付金を毎年要求して順次整備を進めている。現状、2つの交付金を活用していることで流用が出来ないことから、令和9年度以降は臨機応変に対応ができるように、出来る限り1つの計画にまとめて、それぞれの港整備を進めていきたいと考えている。

### 〈住民課〉

問 (高齢者の優待乗船券について) 令和6年度の実績を見ると旧年度より人数は減っているが決算額は増えている。この原因は何か、また今後の年齢引上げによる見通しを伺う。

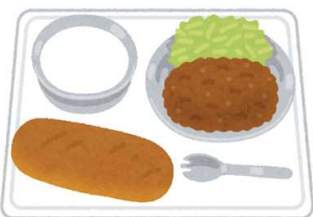
答 令和6年度は交付人数112人に対し延べ件数が86回。令和5年度より交付人数は減少したものの利用回数が多かったことから、実績の金額も増額となっている。これは、令和5年度のフェリー火災事故

の影響もあると考えられる。交付対象者の引上げについては、段階的引上げの期間が終わり75歳まで上げてきたため交付人数に大きな変化がなければこのままの予算額で推移していくと考えている。

### 〈教育委員会〉

問 (学校給食について) 全島においてパン給食、米飯給食の併用という形で実施されているのか。また、給食費無償化が令和2年度から始まっており物価高騰から助成額を上げているが、現状で十分充足した中で献立が立てられているのか伺う。

答 現状パン給食と米飯給食の併用を全島実施している。栄養教諭が献立作成を行い、週に1回をパン給食とするような対応をしている。物価の上昇率の関係もあり、助成額を20円増額したが、今の段階では給食の食材調達に困ることや、さらに値段が上がるような話は聞いていない。



問 (中之島の天文台について) 天文台運営費について、実績を見てもしばしば状況が続いているが施設を造ってから年数も過ぎており、建物も老朽化が進んでいる。今後、村はどのような考えを持っているのか伺う。

答 現状、七島めぐりツアー等で入館した方のみの実績である。費用対効果を考えた場合に、毎年維持費として年間100数十万円程度かかっており、10年間で100万円という形になっている。様々な所に活用する方法がないか問い合わせしているところである。そんな中、中之島で使うのではなく解体して、他の場所に移してはどうかとの問合せもきている。今後、慎重に検討していきたい。

## 特別会計

### 〈国民健康保険特別会計〉

問 (特定検診について) 特定検診と保健指導の事業について、6年度は受診率が低下しているが、受診されない理由を把握しているか伺う。

答 保険指導の実施継続体制が1つの要因として挙げられ、マンパワー不足もある。継続的に指導する体制づくりができるように、仕組みを作りながら強化していきたい。

問 (マイナ保険証について) 基本的には75歳以上の方や一体化されていない方へ資格確認書を発行することであるが、何件程度発行されているのか伺う。

答 全体の国保の被保険者が197名中、資格確認書を発行した方が41名、マイナ保険証として登録されている方が156名である。

### 〈船舶交通特別会計〉

問 (フェリーとしま2の出航判断について) 出航判断について住民から疑問があがることもあり、村としてはどのように考えているのか伺う。

答 出航判断は天候の状況を見ながら毎回、村長・船長・総務課長・土木交通課長・航路対策室のメンバーで判断している。まずは、1人でも多く、1台でも多く運べるように、限られた情報の中で天候等を判断して総合的に出航判断している。また、現在の船員不足等もあり、労務上一番良い形であることも踏まえながら総合的に判断しているということをご理解頂きたい。

### 〈介護保険特別会計〉

問 (介護補助員について) 人材が不足しているようだが、今後人員を増やすのか伺う。

答 定住イベントや広報の掲載もしているが、確保が難しい状況である。今後、介護が必要な人が増えてくると思われるため、まずは配置されていない島を優先して配置していきたい。

### 〈簡易水道特別会計〉

問 (貯水池の停電時のポータブル電源について) 導入に向けての現状について伺う。

答 配備に向けて機種を選定も含め、中之島で施行している事業の中で1基導入している。この機種を試したうえで他島でも配備を検討していきたい。

### 〈後期高齢者医療特別会計〉

問 (備品・財産について) 備品台帳への記載基準を伺う。

答 価格が100万円以上の物品を基準としており該当物品はない。高額なものに関しては、リース契約を行っている。

### 〈へき地診療所運営事業特別会計〉

問 (診療費の徴収について) 看護師が徴収を行い、集めた現金を郵便局へ払込みに行っている。これは看護師の業務を増やしており、他の徴収方法を検討すべきではないか。

答 仮に住民が直接納付する形に変えた場合未納が発生してくる事と、役場での事務負担の増大が考えられる。今後、これらの在り方は考えなければならぬ。

# 議決結果

十島村議会令和7年9月定例会

全て全会一致で原案のとおり可決致しました。

(議決結果)

## 令和7年第3回(9月)十島村議会定例会

| 議案番号   | 件名   | 議決年月日    | 議決結果 | 議決番号    |
|--------|--|----------|------|---------|
| 報告第6号  | 損害賠償の額を定める件                                      | R7.09.10 | 承認   | 承認 第4号  |
| 報告第7号  | 損害賠償の額を定める件                                      | R7.09.10 | 承認   | 承認 第5号  |
| 議案第58号 | 令和7年度十島村一般会計補正予算(第3号)                            | R7.09.10 | 原案可決 | 議決 第57号 |
| 議案第59号 | 令和7年度十島村介護保険特別会計補正予算(第3号)                        | R7.09.10 | 原案可決 | 議決 第58号 |
| 議案第60号 | 令和7年度十島村簡易水道特別会計補正予算(第1号)                        | R7.09.10 | 原案可決 | 議決 第59号 |
| 議案第61号 | 契約の締結について議決を求める件(令和7年度フェリーとしま2第一種中間検査及び一般工事請負契約) | R7.09.10 | 原案可決 | 議決 第60号 |
| 議案第57号 | 十島村手数料徴収条例の一部を改正する条例制定の件                         | R7.09.16 | 原案可決 | 議決 第61号 |
| 議案第62号 | 令和7年度十島村一般会計補正予算(第4号)                            | R7.09.16 | 原案可決 | 議決 第62号 |
| 認定第1号  | 令和6年度十島村一般会計歳入歳出決算について認定を求める件                    | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第1号   |
| 認定第2号  | 令和6年度十島村国民健康保険特別会計歳入歳出決算について認定を求める件              | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第2号   |
| 認定第3号  | 令和6年度十島村船舶交通特別会計歳入歳出決算について認定を求める件                | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第3号   |
| 認定第4号  | 令和6年度十島村介護保険特別会計歳入歳出決算について認定を求める件                | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第4号   |
| 認定第5号  | 令和6年度十島村簡易水道特別会計歳入歳出決算について認定を求める件                | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第5号   |
| 認定第6号  | 令和6年度十島村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について認定を求める件             | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第6号   |
| 認定第7号  | 令和6年度十島村へき地診療所運営事業特別会計歳入歳出決算について認定を求める件          | R7.09.17 | 原案可決 | 認定第7号   |
|        | 議員派遣の件   |          | 決定   |         |
|        | 議会運営委員会の所掌事務の閉会中の継続調査の件                          |          | 決定   |         |